

## 鉄砲洲神社詩吟 素読論語解説

(平成 25 年 5 月 24 日)

【二一】樊遲 従いて舞雩の下に遊ぶ。曰く、敢えて徳を崇くし、慝を修め、惑を辨えんことを問うと。子曰く、善いかな問うこと。事を先にして得るを後にするは、徳を崇くするに非ずや。其の悪を攻めて、人の悪を攻むること無きは、慝を修むるに非ずや。一朝の忿に、其の身を忘れて、以て其の親に及ぼすは、惑に非ずやと。

弟子の樊遲が孔子のお供で、雨乞いをする舞台の下近くに行った時言いました。「どうすれば徳を高くすることができましようか。自分の心の中に隠れている悪心、悪さをする心を昇華させて、心の迷いを自分自身、自覚する為にはどうしたらよいでしょうか。私は人間として本物になりたいのですが、どうしたらなれるでしょうか」と質問をしました。孔子は「非常によい質問だね。まず実行を先にし、利益を得るのは後にする。それが自分自身の徳を高めることに直結する。自分自身の悪いところをよく反省をし、他人の悪いところを攻めてはいけない。そうすれば自身の徳を高めることに直結すると考えてみなさい。だいたい世の中の人間は自分自身を高めることは少ないが、人を攻撃することは多い。人をあまり攻撃してはいけない。一時の自分の中にある腹立ち、怒りに我を忘れてしまうと、自分の親族まで巻き込んでしまうだろう。だから気をつけなさい」というようにここを捉えて下さい。

論語の読み方は何度も申し上げていますが、今の時代に置きかえてみる。今日の章句はおやっと思ふことが沢山ある気がします。孔子が「よい質問をした」と言うのは、夫婦の間でも組織の中でも、相手に聞きにくいことや、言い出しにくいことを言うのは、かなり勇気がいることです。本人にとって嫌だなど思うことを聞くと、憎まれやしないか、反撃されやしないかと思うと、中々その人にとってドキッとするような質問をすることはありません。

例えば現代で置き換えると、「アベノミクスが失敗したらどうなるのか」という質問を直接安倍さんに面と向かって聞く人は中々いないでしょう。アベノミクスは、途中でこんな筈ではなかったというのが出てくるように見えます。アベノミクスは「日本中に金をばらまいてインフレをつくりましょう」ということだから、インフレをつくったらインフレは止るわけがない。国債もべらぼうに刷って、世の中に金をジャンジャン溢れだすということをしているのでインフレは進む。しかし給料は増えない、物価はあがる。参議院選挙が終わった後には、悪くなるだろうと見えます。そういうことを面と向かって安倍さんに聞く人もいないし、マスコミは言いもしない。参議院選挙が終わって言い出すだろうと思っています。